

2016年4月26日

台湾貿易センター

台湾発！世界最大級の最新 IT トレードショー「COMPUTEX 2016」
東京にて記者発表会を開催
今年のコネプトは“To Build the Global Technology Ecosystem”
4社の有力出展企業よりゲストスピーカーも登壇

台湾貿易センター(TAITRA)は、4月26日ホテルオークラにて、世界最大級の最新 IT トレードショー「COMPUTEX 2016」に関する記者発表会を開催いたします。今回で36回目の開催となるCOMPUTEXには、Acer、ABB、AMD、ASUS、Audi、HTC、Intel、Mercedes-Benz、Microsoft、NXP、Samsung、Siemens など、計28ヶ国・1,600社以上が出展し、165ヶ国から約13万人が来場を予定しており、まさに世界の最新テクノロジーが一堂に会する注目のトレードショーです。



日本では今年が初開催となる記者発表会であり、台湾貿易センターの副秘書長である葉明水が COMPUTEX 2016 についてのアナウンスと今年のコネプトに関する発表をさせて頂く他、4社の有力参加企業に、ゲストスピーカーとして登壇いただきます。本年度は、「IoT」、「スタートアップ(Startups)」、「ゲーミング(Gaming)」、「スマートビジネスソリューション(Business Solutions)」の4つをテーマに掲げ、5月31日(火)より6月4日(土)までの5日間、台湾・台北市にて COMPUTEX 2016 を開催いたします。さらに今年、革新的なスタートアップ企業を招く“InnoVEX”エリアや、世界のスマート・テクノロジー市場の最新トレンドを紹介する“SmarTEX”エリア、アップル社の MFi 認証を取得した周辺機器を展示する“iStyle”エリアを新設するなど、革新的な展示を展開予定です。

■ InnoVEX エリアについて

フォーラム、発表、マッチング、展示、交流、ピッチコンテストなど、様々なイベントを開催予定で、スタートアップ企業の成功や育成につながるプラットフォームにできればと考えています。

■ SmarTEX エリアについて

セキュリティアプリ、スマートホームとエンターテインメント、ウェアラブル、IoV と車載電子製品、3D 応用

ビジネス、スマート・テクノロジー&ソリューションなど、最新のスマートテクノロジーアプリを展示します。

■キーノートスピーチについて

「CPX フォーラム」

CPX フォーラムは、世界のテクノロジー企業が革新的な最新の産業トレンドを提案する、最適なプラットフォームです。今年のCPX フォーラムは、「IoT」と「スマート・イノベーションズ」をテーマに掲げ、キーノートスピーチとフォーラムを同時に開催しております。キーノートスピーチではテーマを「フューチャーテクノロジー」と「スマートマニュファクチャリング」の2大トピックスに定め、フォーラムでは「IoT エコシステム・パートナーシップ」と「IoT アプリケーション」としており、各国から知名度の高い企業をお招きし、ICT 産業の未来を存分に語って頂きます。

・スケジュール

5月31日

09:00-12:30【基調講演】テクノロジートレンドの新未来

14:00-17:30【テーマフォーラム】IoT エコシステムの構築

6月1日

09:00-12:30【基調講演】イノベーションで「スマート」な新しいDNAを注入

14:00-17:30【テーマフォーラム】IoT 分野の新たな応用

・場所

台北国際会議センター3F 宴会ホール

・講演者ラインナップ

・基調講演の講師陣

・テーマフォーラムの講演企業

■ゲストスピーカー発表内容サマリー

台湾貿易センター 副秘書長の葉明水

「COMPUTEX は世界中から集まるバイヤーの方たちに、グローバル・テクノロジー・エコシステムを提供

できると考えています。世界有数の台湾の ICT 産業と、本年度のコンセプトである“To Build the Global Technology Ecosystem“によって、COMPUTEX 2016 は過去に例を見ないほど、最高に素晴らしいものになるでしょう。」

また、今日の記者発表会では、アドバンテック株式会社、デルタ電子株式会社、NTT Taiwan LTD.、Socionext、Taiwan Inc.の有力 IT 企業4社から、彼らのテクノロジーの持つビジョンや、COMPUTEX 2016 の出展内容などについて、プレゼンテーションしていただく予定です。

①アドバンテック株式会社 社長 マイク 小池

「産業用コンピュータの分野で世界トップシェアのアドバンテックは、今回の COMPUTEX 2016 では、スマートビジネスマネジメントについての提言発表に加え、リテール/ホスピタリティビジネスにおけるモビリティサービスとしてモバイル POS 製品の最新製品展示、リテール/ホスピタリティ産業における変化のトレンドに対する取組みとして UTC/POS 製品ラインナップの展示など、実施予定です。」

②デルタ電子株式会社 代表取締役 柯 進興

「産業用、業務用、家庭用などの電源、エネルギー管理の製品とソリューションを提供するデルタ電子は、2012 年から毎年 COMPUTEX に出展していますが、今年は“スマートグリーンビル“をテーマに、IoT を活用した、未来のスマートで環境に優しい職場の展示、省エネ建築におけるデルタ製品・ソリューションの活用についてご紹介する予定です。」

③NTT Taiwan LTD. 総経理 (社長相当) 惠木 教文

「NTT グループの ICT ソリューションをご紹介します。台湾経済の拡大や日台経済連携に貢献したいという理由から COMPUTEX2016 に出展します。“Seamless Cloud for Taiwan”をテーマに、Enterprise Cloud、Arcstar Universal one、企業向けモバイルソリューションなどを展示予定です。」

④Socionext Taiwan Inc. 総経理 (社長相当) 姉齒 伸彦

「Socionext Taiwan は、映像、ネットワーク、コンピューティングをコア技術として、クラウド、IoT などに向けたアプリケーションの開発を進めています。また、最先端の映像・イメージング技術の開発により、8K 映像市場におけるリーダーを目指しています。今回の COMPUTEX 2016 では、最新の超解像画像処理技術、高速映像ストリーミング、プロ仕様スマートカメラ、セキュリティカメラなどのアプリケーションの展示を行い、データ転送、プロフェッショナル向け機器、エンターテインメント、セキュリティ分野などにおける最先端のソリューションを提案します。」

■ COMPUTEX について

1981 年から開催された COMPUTEX TAIPEI(通称 COMPUTEX)は、サプライ・チェーン全体を網羅した世界有数の ICT 見本市です。中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)と台北市電腦商業同業公会(TCA)の共催で開催される COMPUTEX は、台湾の ICT クラスタに近いという地の利を活用して、上流工程の部品製造からシステム組み立てや IoT アプリケーションに至るまで、ICT のあらゆる領域をカバーしています。台湾企業は、世界のコンピューティング・デバイスの 3 分の 1 以上を製造している為、インターネット・コンピューティングのエコシステムでパートナーを求めているバイヤーにとって、台湾は戦略

上欠かせない存在です。COMPUTEX に関する詳細及び参観登録は、Web サイト www.computextaipei.com.tw、または computextaipei.jp (日本語)をご覧ください。Twitter は @computex_taipei、ハッシュタグ#COMPUTEX でフォローできます。

■TAITRA について

TAITRA(中华民国对外贸易发展协会)は、2016年に36の展示会を主催しました。国内外から合計1万1,475社が3万2,982のブースに出展し、海外からの来場者は8万2,939人にのぼっています。

HP: <http://www.taitra.gr.jp/event/computex/>